

## 彙報

### 第五回総会および研究集会

木簡学会第五回総会および研究集会は一九八三年二月三日・四日の両日にわたり、奈良国立文化財研究所平城宮跡資料館講堂において参加者約一〇〇名にて開催され、活発な質疑討論が行われた。

会場には研究報告に関連して藤原宮跡、平安京右京八条二坊、法性寺跡、鳥羽離宮跡、兵庫山垣遺跡出土木簡、また別に静岡県坂尻遺跡出土墨書土器が展示され参加者の関心を集めた。

◇二月三日(土)(午後一時～五時三〇分)

第五回総会(議長 水野柳太郎氏)

まず岸俊男会長の挨拶があり、学会として見学会やニュース速報を出すことを考慮していることが述べられ、また墨書・ヘラ書き土器等への注意が必要であること、海外での出土木簡の情報交換を進める必要があることなどの提言があった。続いて水野柳太郎氏が議長に選出され議事が進められた。

会務報告(狩野久委員)

一年間の活動と現状につき、会員数は、新入会員一〇名、死去および退会者三名で、現在一七三名であり、五年目に入ったので会員名簿を更新したこと、木簡出土情報に遺漏があるので、その

収集につき会員の一層の協力を仰ぐこと、事務局体制を充実させるため専従者の雇用を考慮中であることなどの報告があった。

編集報告(佐藤宗諱委員)

会誌第五号の編集については、一九八二年度の木簡出土遺跡は三五遺跡であるが、六遺跡については諸般の事情により報告が入らず、また、三五遺跡以外にも落ちがあるらしいので会員の協力を願うこと、第六号への論文の寄稿の要望、木簡だけでなく他の文字資料の掲載についても考えていきたいこと、第五号の頒価は三五〇〇円、送料四〇〇円とすること等の報告があった。

会計報告(岩本次郎委員)

一九八二年度(一九八二・四・一～一九八三・三・三十一)の会計について収支決算報告と説明が行われた。続いて関晃監事から、六月九日に関・土田直鎮両監事が会計監査を行い、その結果運営は厳正適切であった旨の報告がなされた。

以上の諸報告については異議なく承認された。

なお、総会後の時間を利用して、奈良国立文化財研究所が行っているコンピュータによる木簡データ検索の実演があり、今後の史料利用の方向を示すものとして大きな関心をよんだ。引続き二時三〇分から研究集会を開いた。

研究集会(議長 田中稔氏)

平安時代の記録にみえる木簡について

山田英雄

鹿の子遺跡出土の漆紙文書について 鎌田元一・川井正一

山田報告は日記等にみえる簡・札・籍などの用例を多数挙げて精緻な検討を加え、平安時代の木簡についての展望を示したものである。その成果は本号に収載することができた。鎌田・川井報告は大会での木簡以外の文字資料の初めての報告になるが、遺構・漆紙に関するスライドを用い、出版された報告書の一部訂正、および報告書でふれなかったことを中心に、漆容器のフタ紙と土器の種類との関係など諸点につき、あらたな見解を示した。本号所載の鎌田論文は同報告に関連する論考である。

研究会後、 Grill友楽で懇親会をもった。

◇二月四日(日)(午前九時一〇分～午後三時二〇分)

研究会(議長 早川庄八・原秀三郎氏)

最近の各地出土の木簡

佐藤 信

兵庫県山垣遺跡出土の木簡

加古千恵子・佐藤宗諄

藤原宮跡出土の木簡

加藤 優

いずれも一九八三年中に出土ものの報告で、佐藤(信)報告に対しては、会場から岡山県百間川遺跡、静岡県小川城遺跡等数カ所の追加報告があった。なお、大阪府津堂遺跡出土の曲物墨書については赤外線テレビ撮影によるVTRを放映した。加古・佐藤(宗)報告では、スライドによる遺構説明に続き、釈文の説明があった。八世紀初めの里レベルの在地の状況を示す木簡として関心

を集め、木簡の表裏の関係や文字の釈読等について意見が出された。このあと昼食後の休憩時間に平城宮跡第二次大極殿の第五次発掘現場を見学した。午後の加藤報告は弘仁元年銘の莊園木簡に関するものであるが、語句の解釈や二不得八制についての質問があった。続いて総括討議が行われ、平野邦雄副会長の挨拶のあと閉会した。

委員会報告

◇一九八三年一二月三日

総会に先立って、新入会員の承認、および会務報告、会計報告、会誌編集、総会・研究会運営等について検討を行った。

◇一九八四年六月一四日

一九八三年度の会計報告、会誌第六号の編集について討議を行い、また第六回大会の総会・研究会の日程を二月一日・二日とすることとし、報告内容の検討を行った。新入会員六名が承認された。会員への木簡出土速報として、関係機関の御協力を得て、平城宮、多賀城、大宰府の木簡に関する概報・現地説明会資料等を送付することとし、八月末に実施した。

◇一九八四年一〇月一七日

一九八四年度の会計中間報告、会誌第六号編集の経過報告があり、第六回大会の日程・内容についてはほぼ決定した。新入会員七名が承認された。